

平成30年2月定例教育委員会 会議録

1 開催期日 平成30年2月26日(月)

開会 午後 1時28分

閉会 午後 3時18分

2 開催場所 役場 2階 会議室

3 出席者名 教育長 布施 東 雄
委員(教育長職務代理者) 諸 橋 志津子
委員 宮 下 静 子
委員 不二井 悟 史
委員 原 田 光 雄

局長 菅 谷 吉 晴
局参事 泊 昌 司
次 長 荒 木 秀 人
係 長 朝 倉 恵 子

4 議 件

報告第2号 穴水町立小・中学校の卒業式について

協議第1号 穴水町総合教育会議について

5 議事の経過について

事務局の進行により、前会議録の承認を得た後、教育長から、穴水小学校、向洋小学校の6年生を送る会についての報告、穴水町公民館大会についての報告、穴水小学校のインフルエンザによる学級閉鎖についての報告、図書寄贈についての報告があり、会議録署名員に諸橋委員及び宮下委員を指名し、承認されました。

審議に入り、報告第2号及び協議第1号について説明があり、質疑応答が行われ、承認及び決定されました。

次に、3月の定例教育委員会の開催期日を3月22日(木)午後1時30分、臨時教育委員会の開催期日を3月28日(水)午後1時30分と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

2月 定例教育委員会議事録

－ 教育長報告 －

2月もあっという間に終わろうかとしています。オリンピックも昨日で閉幕しましたが、日本の選手団が大変な活躍をしてくれまして過去最高のメダル数を得たということで、いろいろな若い選手のいろいろなスポーツでの活躍が随分あったいい大会であったかなと思っています。また昨日は東京マラソンで設楽悠太選手が日本新記録を出し1億円を貰ったとニュースになっていましたが、20年ぶりに新記録が出たということで、これもまた東京オリンピック前にいいことかと思えます。

行事を追ってご報告させていただきますと、2月23日に穴水小学校と向洋小学校の「6年生を送る会」が開かれました。いつもより児童達の趣向を凝らした発表がたくさん出てきたように思われます。特に穴水小学校では、今年は演劇といましようか表現ができる取り組みが増えてきて、今の教育改革の方向に合っていて、良い傾向にあるなという感じで見ていました。向洋小学校は児童の数は少ないのですが、全体的に児童がしっかり落ち着いていまして、その学年ごとの成長の跡がしっかり見られる良い会だったように私は感じて帰ってきました。

昨日25日は穴水町公民館大会で、穴水の4公民館が集まって合同の研修や発表をするという大会が3年ごとに開かれています。今年がその3年目で、甲公民館と住吉公民館が事例発表をし、星稜大学の本康宏史教授が「石川県の歴史と穴水町」という題で講演会がありました。明治維新期の廃藩置県で県名をつける時に石川県がどうして石川県になったのか、金沢県にならずに石川県という名前になったのはなぜかというお話を聞かせていただきまして大変勉強になりました。穴水町も一時は高山県だったということでその陣屋後が今の駅裏あたりにあったという歴史も含めて知ることができました。我々も勉強していかなければならないことがたくさんあるということを思わされたところです。またいろいろな研修を続けていければと思います。

報告ですが、本日、穴水小学校より報告がありまして、3年生が1クラスなのですが、インフルエンザ発症で明日より学年閉鎖になりますので報告いたします。

先日、福島県伊達市の山下良仁氏より小学校と図書館の方に図書の寄贈がありました。小学校の方には国語辞典41冊をいただきました。穴水小学校に31冊、向洋小学校に10冊、分けました。野畑校長先生は、大変きれいでカラフルでいい辞典なので普通の本として図書館の方に置くといつでも開いてみられるので図書館の方に置くという感想をいただきました。また、穴水図書館には、伊能図大全という伊能忠敬が地図を作った時の足跡が分かる辞典とその他に冊子を2冊、穴水図書館に置くことにいたしました。そういうことで報告させていただきます。総額23万円位の金額ですが、現物で寄贈していただきましたので良かったと思っています。以上です。

皆さん、何かご質問等がありますか。

原田委員 山下さんというのは、どちらの山下さんですか。

事務局長 来迎寺の二男さんです。

－ 議事 －

事務局長 報告第2号「穴水町立小・中学校の卒業式について」説明委員の皆さんの出席方を、よろしくお願いいたします。

不二井委員 私は今回は出席できません。

教育長 他には、よろしいでしょうか。

諸橋委員・宮下委員・原田委員 はい。

教育長 では次に協議第1号です。

事務局長 協議第1号「穴水町総合教育会議について」説明

教育長 日程はどういたしましょうか。

(日程調整)

事務局長 定例教育委員会が3月22日の午後1時30分から、穴水町総合教育会議が同日の午後3時からということによろしいでしょうか。

それでは11ページをお開きください。穴水町総合教育会議の協議調整事項ですが、ここに(案)をお示ししてありますが、(1)に「教育行政に係る新年度予算について」と、(2)に「教職員多忙化改善の取組方針について」ということで協議事項を挙げて総合教育会議を行いたいと思っております。これはあくまでも案でございますが、(1)ですが、おおまかな今後の新年度予算も含めまして教育環境の充実ということで話をしてはどうかなということですが、お手元のカラー刷りの資料を見ていただきたいのですが、「ふるさとの未来を担う心豊かな人づくりのために」教育環境の充実を図りたいと思っております。

(詳細説明)

予算も含めまして、概ねこのような形で進めたいと思います。それと、(2)の教職員の多忙化ですが、これについては、まずは町でできることからということで、タイムカードの導入ですとか、あと部活動の指導員のモデル配置の事業を行っておりますが、ICTの支援員を活用いたしまして先生方の業務等も改善できましたらと考えています。勤務内容が可視化できればと思っております。また、教職員のストレスチェックを行いまして早く未然に防げればと思っております。また、今までも行ってきましたが、異学年の交流、地域での体験活動がこれまで地域や家庭で行われてきたところですが、現状では学校で担っているということで、ますます多忙化となっているということですので、次年度、県の事業ですが、学校と地域の役割を改めて点検見直しを行いまして、教職員の多忙化の軽減を図るというようにしたいと考えております。

教育長 何かご意見等がございましたら、よろしくお願いいたします。

諸橋委員 感想という感じになりますが、まず小中一貫教育校を構想に描いているというのは、これは石川町長が語られたことを基にした案かと思しますので、そこで今、一体型、連携型、併用型というそれぞれについて連鎖をして或いはこれを実施している学校の視察等、それからメリット、デメリットを把握した上でのことですが、私はここでもうひとつ、先ほど局長が地域の役割ということをおっしゃったのですが、地域コミュニティが関わるということもありますので、連携型のところへ将来はいくのかなと感じます。それが本当にいいのかどうかという問題もありますので、先ほどの公民館の在り方と共に地域コミュニティとの関わりというのでここ辺りでもうひとつ公民館が絡んでくる問題でないかという感じがしています。

2点目に、教職員の多忙化のために県からも施策が出ていますが、先ほども局長のお話の中で先生方の多忙化の中で可視化を図るというお言葉があったので、地域住民が教員がどんなことで悩んでいるのか、どうしてほしいということがあるのかということの可視化することが多忙化解消につながると思います。教員が今一番欲しているのは、空き時間が無いということで、休み時間といいながらもノートのチェックをしたりテストの○付けをして子ども達と向き合えない、空き時間が無いために教材研究ができないという点です。空き時間が無いという現状、そのところをいかにして工夫していくか、子ども達と向き合うというのはどういうことかということ、学校サイド、教員側ももう少し自分たちもイメージを学校教育の経営の中に描いてほしいと思います。ただ忙しい、忙しい、時間がない、時間がないだけでは済まされないところで、学校側もある程度は可視化しなければならないと思います。

事務局長 一般の方には理解できないかもしれないですね。

諸橋委員 教材研究とは、わからないかと思います。

事務局長 教育長が3月5日に県の多忙化改善の取組方針に（案）に向けた会議に出席されますので、その後修正はされますでしょうけれど、県の取組方針を基本に私どもも進めていきたいのですが、私どもでできることは先以て進めていかねばと思います。

諸橋委員 学校教育の中で一番はっきり可視化できるのは、全国の学力調査ですよ。ただども本来の学校教育の一番の崇高な理念というのは、やはり人間づくり、人格形成にあるので、その部分を教員の多忙化、多忙化と実際のやや一般企業がするようなそういうことで果たして教育ってそれでいいのかという側面から見た場合、人間を育てるとはこれでいいのかなというそういう部分があります。はっきりと割り切るのならば、きちんと人間形成のためにこうあるべきというそういうひとつの形態を示す必要もあるのではと抽象的ですが感想として思っています。

不二井委員 部活動指導員配置は、もう平成30年度からの配置ですよ。各部に指導員が配置されるのですか。

事務局長 いえ、これはモデル事業ですので県の方から割り当てがあるのですが、穴水町は中学校に一人だけということです。週6時間ですから実際に指導する時は週6時間では足りないのです。また県の要項の中に「今までに学校での部活の指導経験がある者」というふうに謳われていますので、結局は部活経験のある退職教員しかお願いできないのです。

不二井委員 その際に学校の部活に対する方針と、その方の基本的な考え方との相違といいたいでしょうかその辺の調整は…どうなりますか。

事務局長 先生方の思いと外部指導者の思いと、先生方は学校全体での教育を考えて部活動を通して指導するのだと思うのですが、部を強くするだけのために部外者が来てやりすぎるとせつかくの教育の一環であるのが違ってきますので、当然そのような部分には気をつけて配置していきたいと考えています。

原田委員 質問になりますが、県教委と奥能登教育事務所で、教育長は以前からこういうことはカットしてもいいのではないかとおっしゃっていますが、たとえば指導主事訪問の時の指導案をねらいと過程さえわかればいからそうすればどうかということで、私自身も簡素化できるものとできないものが当然あると思いますので、こういうことはカットできないかと、とにかく報告、報告が多いので、そういうことが少なくてもいいように思います。そのあたりどういうものをカットできるのではないかとということを考えておられるのかなと、研究発表も市町割り当てで、3校しかないので中学校でというと毎年毎年穴水中学校で研究を取り組まなければならないという事実がおきているわけです。これぐらいまでは削減してもいいのではないかとという明確なことや、事務的なことは削減してというのが出ているのでしょうか。

教育長 調査物、アンケート等が非常に多いということがまず問題になりまして、県でも良く似た調査物が学校指導課からきたり生涯学習課からきたりするのでその辺は統一しようということと、報告の様式や報告の仕方は別に全部がペーパーでなければならないということではないので、簡単にしようということに取り組みますということでした。
多忙化のネックは何かと聞きましたら、やはり学力向上対策であったり、研究授業ですよ。いったい一回一回膨大な資料があるのか、幸い奥能登全域の教科書が一緒なので同じ時期に回ると同じところの授業をしているので学校ごとの報告があるのかということです。但し若い先生が多くなってきたので指導案をたてるという経験を1回や2回はさせなければなりません。それでなければ教員として育っていかない部分もあるので、A訪問1回だけにしましょう、あとは略案でいいですよということです。徐々に支援を入れることで進めていくのかと思います。
(詳細説明)

部活動については文科省も言いましたとおり将来的には社会教育に移すということでした。

(詳細説明)

我々ができるところ、学校で工夫改善しなければならないところ、上の方で変えられるところを考えていかないと、今までのことを残して新しいことを増やしていくと増々先生方の多忙感が増えていくという状況になっているので、変える、思い切って止めるという意識的にやらなければならないし、4月当初に丹念にもう一度見直さなければなりません。小さいことから意識を変えていかなければとおもっていますし、劇的に減るわけではないので、20%でも減らしていくなかで次の方向を考えていかなければなりません。

原田委員 部活動においてですが、子どもの立場を考えると、今の県教委の案でも外部にかつける、そうすると不二井委員も心配されていますが、外部の指導者に体罰等があったりしては、安易に渡すということは如何なものかと、部活動を通してするというのなら以前もありましたが6時までとするとか、週に一回は休みにして教員が指導するのが一番効果的かと私は思います。

勝利至上主義では如何なものか、皆で目標を持ってやっていった方が子どもの人間形成には適していると思いますので、外部に渡すのも手段ですが、スポーツを通じて教育できる人材でなければなりません。

教 育 長 経験のある人と無い人では違いますからね。

原 田 委 員 短時間でもやれば十分かと思います。

教 育 長 やはりシーズンというのはありますので、オフシーズンは休むというやり方をすればいいか
と思います。

原 田 委 員 事務所独自でも負荷をかけている部分があるのではないのでしょうか。

全 員 ありますねえ。

宮 下 委 員 局長が先程こども里ナビさんを育成するとおっしゃいましたが、子ども全員がするのですか。
それと英語で里ナビをできるまでにするのですか。

事 務 局 長 英語までは考えていないのですが。

宮 下 委 員 主力は先生なのですか、里ナビさんなのですか。

事 務 局 長 里ナビさんにも助けていただこうかと思っています。

宮 下 委 員 形を変えた総合学習ですね。

原 田 委 員 里ナビさんはガイドを持っているのですか。

諸 橋 委 員 その地区その地区の里ナビは持っています。

教 育 長 里ナビができた頃は町外からバス等によく見えましたのでグループグループで出ましたが、
今はあまり見えなくなりましたね。

諸 橋 委 員 穴水町ではガイドブックはないので町で作っていただきましてそれを中学校へおろせばいい
のではと思います。

原 田 委 員 英語でガイドするところまでできればいいですね。

教 育 長 今では観光パンフレットも英語版を作らなければならないのです。
その他に、何かありますか。無いようでしたら、その他です。
まず、「いじめ・不登校について」です。

朝倉係長 （詳細説明）

宮下委員 やすらぎ教室のスーパーバイザーとは特別な方なのですか。

朝倉係長 臨床心理士のカウンセラーの先生です。

宮下委員 画期的に良くなるのですか。

朝倉係長 急激に良くなるということはないですが、やはり専門の方にアドバイスをいただくことで子ども達も心を開いていきます。

（途中省略）

教育長 はい。では、次に3月の行事予定です。

荒木次長 （3月行事予定について説明）

教育長 行事について何かありませんでしょうか。

では、3月の定例教育委員会の日程は先程のとおりです

諸橋委員 今回は臨時教育委員会も決めなければなりませんね。

（日程調整）

教育長 では次回定例教育委員会は、3月22日（木）午後1時30分から行います。

臨時教育委員会は、3月28日（水）午後1時30分から行います。臨時教育委員会につきましては暫定的です。よろしく願いいたします。

宮下委員 最近の「おはよう運動」ですが、大変清々しくて、指導がいいのかとても良いです。全員、放送部に入れるくらいいいです。

教育長 他にありませんか。

以上、これで定例教育委員会を終わりたいと思います。

以上

穴水町教育委員会会議規則（昭和 31 年教育委員会規則第 2 号）第 15 条第 2 項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教 育 委 員
